

授業概要

科目名	福祉住環境論演習				授業の種類	演習	講師名				
授業回数	15	回	時間数	30	時間	1 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	2 年	前期
【授業の目的・ねらい】 福祉用具の活用法と住宅改修のポイントを学ぶ											
【実務者経験】 総合病院にて7年の勤務経験において、担当講師は退院前後の自宅訪問にて生活動作や家屋評価などを実施してきた。また、退院後の外来通院困難な症例に積極的に訪問リハビリテーションも受け入れた。その後4年間は介護老人保健施設にも勤務し、そこでは通所サービス利用者の福祉用具選定やフォローアップにも大きく関わった。さらに、各症例の担当ケアマネージャーや業者とも連携を深め、積極的に住宅改修にも関わった。また、2011年の国土交通省高齢者等居住安定化推進事業にて、兵庫県下南側エリアの住宅改修のアドバイザーとしても関わった。この経験を活かし講義を担当する。											
【授業全体の内容の概要】 各動作における福祉用具の良い点と注意点を学ぶ。また、住宅改修についても各動作や場所ごとに改修ポイントを学ぶ。											
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 作業療法士にとって必要な福祉用具と住宅改修のポイントについて理解する。また、福祉住環境コーディネーター2級修得をめざす。											
回数	講義内容									準備物(教材)	
1	オリエンテーション（2級習得に関する説明含む） 福祉住環境概論、福祉用具総論										
2	福祉用具各論（起居・就寝）										
3	福祉用具各論（移動）										
4	福祉用具各論（移動）										
5	福祉用具各論（排泄）										
6	福祉用具各論（入浴）										
7	福祉用具各論（自助具）										
8	福祉住環境整備の共通基本技術										
9	福祉住環境整備の共通基本技術										
10	福祉住環境整備の共通基本技術										
11	生活行為別福祉住環境整備の手法										
12	生活行為別福祉住環境整備の手法										
13	生活行為別福祉住環境整備の手法										
14	図面の観かた・設計方法その他										
15	まとめ										
	定期筆記試験										
【使用教科書・教材・参考書】 東京商工会議所公式福祉住環境コーディネーター2級テキスト											
【準備学習・時間外学習】 バリアフリー展で得た知識と講義内で得た知識を統合させること。											
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は課題の評価を20点、小テストを30点、定期筆記試験50点として合計100点とする。 60点以上の場合に科目を認定する。											